
PANDORA

神崎昂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

PANDORA

【Nコード】

N6758Y

【作者名】

神崎昴

【あらすじ】

これは光の国という平和な国で暮らす1人の少年がとある組織と関わることにより少しずつ眠ってる力を開花させていき、数多くのテロリスト、殺し屋、侍、忍者、海賊などと闘いを繰り広げ世界を壊滅から救っていく物語である。

PANDORA 第1話 パンドラの箱（前書き）

これは光の国という平和な国で暮らす1人の少年がとある組織と関わることにより少しずつ眠ってる力を開花させていき、数多くのテロリスト、殺し屋、侍、忍者、海賊、賞金稼ぎなどと闘いを繰り広げ世界を壊滅から救っていく物語である。

PANDORA 第1話 パンドラの箱

風間乱丸「ふあゝ・・・だるい！校長の話だるいしサボるか・・・」
これがこの物語の主人公。現在高校2年生である。

朝倉利子「何やってるの？早くしないと始業式はじまるよ？」

乱丸「ダルいから一緒にサボろっか？」

乱丸はふざけて利子の小さな胸に顔を突っ込む。

乱丸「んゝ小さい！俺やつぱ巨乳の良さわかないわ！貧乳サイコ
ー！とくに利子のー！」

利子「お前は怪物くんか！ー！つか胸さわるな！ほらいくぞー！」

乱丸と利子は遅れて始業式に参加する。

赤星功太「遅いぞ二人とも！何やってたんだ？」

利子「ごめんごめん！この子が言うこと聞かなくなつてー！」

乱丸、利子、功太の3人は小学生からの幼馴染である。

クラスのHRが始まる。

山田先生「はい！皆出席！ー！今日から2学期が始まります。まだ夏
休み気分の人も多いようですが切り替えてやって行きましょう！そ
して最近物騒な誘拐や殺人などの事件が相次いでるようなので気を
つけましょう。」

星野晋作「大丈夫かな？僕、なんか怖いよ・・・」

西河優子「大丈夫よ！ー！あの先生いつも大げさだからね。」

乱丸「利子！今日、カラオケ行こう！ー！俺、トライアングルゲーム
の曲の振り付け覚えたんだ！んゝやつぱ短髪のディスコが1番可愛
いな！ストレートのリズムやパーマのヴォイスもいいけど・・・」
利子「ごめん！今日急いでるんだー！」

乱丸「最近いつもそうじゃん！じゃあ・・・仕方ないから功太！」

功太「悪い！俺もなんだ！」

乱丸「チエツ！」

後藤五月「あの・・・乱丸君ちよつと話が・・・」

乱丸は屋上に呼び出される。

乱丸「えっ！好きってまさか俺のこと？」

五月「・・・だめならいいんです！ただ・・・ずっと伝えられずにいるのは良くないかって！」

乱丸「ごめん！俺好きな人いるから！でもありがとう！！うれしかった。誰かに告白されたの初めてだったから。」

五月「そうかやっぱり利子ちゃんのこと・・・うつん！気にしないで！！じゃあまた明日！！」

五月は悲しそうに帰っていった。この後、悲劇が起きるのである。

冥王星^{ブルート}「分かったなサム必ず乱丸を誘き寄せるんだ！そして彼に眠ってる力を目覚めさせるのだ！！」

サム「はい！かしこまりました！冥王星に出された金額どおりの仕事は果たして見せます！！」

冥王星「では切るぞ！」

浅利剛「なあ洋子知ってるか？」

風間洋子「ん？」

剛「100人殺し事件のこと。」

洋子「ああ知ってるわよ。ある少年が指を鳴らしてその瞬間にナイフが100人の人間の胸に刺さって死んだんでしょ。怖いわよね。」

剛「にしても、なんで一瞬であれだけのことが出来るの？・・・本当に信じられない。一体どんなエレメントの使い手なんだ？」

洋子「何エレメントって？」

剛「知らないのか？全ての人間に等しく眠っている潜在的な力のことさ！場合によってはコンテンツって言い方もするみたいだけど俺

は良くしらねえ！」

洋子「ん？」

剛「どうした？」

洋子「あれっってお兄ちゃんの学校の制服・・・うわ！怖い顔の男の人に車で連れ去られちゃった！」

そこに乱丸が現れる。

乱丸「洋子・・・どうした？」

剛「あっ！お兄様！さっきあなたと同じ学校に通ってると思われる女の子が連れさらわれてしまいました。」

乱丸「そうか！っ！って誰がお兄様じゃ！まだお前らの交際を認めたわけじゃないんだぞ！」

洋子「はあゝお兄ちゃん本当に面倒くさい。」

乱丸「あ？ところでどんな奴だった？」

洋子「確か小柄で髪型がポニーテールでヘッドホンしてたかな？」

乱丸「それってまさか・・・五月か？くそっ！どうやって探せばいいんだ！」

タケル「心配ないですよ！」

突然PCをいじってる少年が現れた。

乱丸「お前誰だ？」

タケル「僕はタケル。あなたの友達のメアドが分かれば一瞬で居場所分かりますよ。僕のハッキング技術を持ってすればね！」

乱丸「これだ！」

タケルはPCを使い一瞬で五月の居場所を見つけた！

乱丸「第三倉庫の裏か！ありがとう・・・ってあれ？」

気付いたらタケルの姿はなかった。

英樹「急いでるんだろ？乗れよ！」

利子「話は全て聞いてた。」

功太「ちようどいい！今日は任務が休みだ！」

乱丸「任務・・・？まあいい早くしてくれ！！！」

乱丸、利子、功太は英樹の車で第三倉庫へ向かう。

サム「ふん！来たか！」

五月「乱丸君！！来てくれたの？」

乱丸「今すぐに助けるからな！」

サム「まあいい！皆すぐにあの世へ送ってやる。」

サムはナイフを3本取り出し、乱丸に向かって投げた。

乱丸「ぐあゝ肩が！！くそっ！！」

五月「乱丸君！」

サム「苦しそうだな！じゃあそろそろ楽になるか？」

サムは杖に仕込んだ刀を取り出した。そして・・・

サム「ヒヤハゝ死ねゝ！！」

乱丸「ウィンドエレメント風のエ元素チャージ！！”」

乱丸の掌を緑色のオーラが覆う。

サム「・・・これがこいつのエレメントか？やはり冥王星の言っていた通りの・・・だが俺の攻撃の方が速い！」

乱丸「れっぶうしょう烈風掌！！”」

乱丸が掌を刀のようにサムの胸を切り裂き、サムは倒れた。

乱丸「ハアハア・・・なんだこの力は？」

乱丸は訳が分からなくなり出血の量と自分のしたことに対する困惑でその場に倒れ込む。

PANDORA 第1話 パンドラの箱（後書き）

次回、記憶喪失の少年が登場。

PANDORA 第2話 記憶をなくした少年（前書き）

乱丸は自身に眠ってる力を覚醒させ殺し屋を倒し、そして混乱で乱丸も倒れてしまう。

PANDORA 第2話 記憶をなくした少年

利子「えっ？嘘でしょ？乱丸もエレメント持ってたの？」

功太「いざとなったら俺の“火の元素”^{ファイアエレメント}や利子の“水の元素”^{ウォーターエレメント}で倒そうと思ってたが必要なかったようだな。」

利子「あっ！そうだ！！忘れてた！五月ちゃん。大丈夫だった？」

五月「うん！大丈夫！！皆がすぐに駆けつけてくれたおかげで助かったよ！」

利子は五月の縄をほどいた。

そして乱丸、五月は病院へ搬送される。

五月は検査の結果体に異常がなかったためすぐに帰宅。乱丸は肩の傷が深かったため3日間だけ入院することとなる。

入院1日目

乱丸「病院って・・・意外と暇だな！まあ学校行かずに済むからいいけど。ちよっとコンビニ行つてなんか買つてこようかな？ウオ！」

乱丸はある少年とぶつかる。

乱丸「悪い！大丈夫か？」

名前のない少年「ああ！大丈夫だ！君こそ大丈夫？肩怪我してるんじゃないのか？」

乱丸「なんてことねえよ！！ところでお前、名前なんて言うの？俺、乱丸！」

名前のない少年「分からないんだ・・・」

乱丸「いやいや・・・そんなことないだろ？なんで嘘つく？名乗りたくないなら無理して名乗らなくてもいいぞ。」

名前のない少年「いや・・・本当に分からないんだ！自分が誰なのかもどこから来たのかも・・・気付いたらここにいて記憶が全くないんだ！」

乱丸「記憶喪失か・・・ごめん！」

名前のない少年「いや！いいんだ！」

乱丸「あのさ・・・友達にならない？功太も利子も全然見舞いに来てなくて暇なんだよね。」

名前のない少年「ありがとう！うれしいよ！」

乱丸「よし、じゃあこれから名前呼ぶとき困るから俺が名前付けてやる！・・・『空』なんてどうだ？」

空「気に入ったよ！いい名前だね！！！」

乱丸「よし！お前はこれから空だ！」

乱丸と記憶をなくした少年『空』は友になる。しかしこの乱丸も少年もこれから事件に巻き込まれていくこととなる。

そのころとある部隊の本部では

機械「パスワード認証完了！」

風間蓮「第5班無事帰還しました。」

永沢誠司「よし！良く戻ったな！！例の殺し屋は捕まえたのか？」

松本裕「はい！・・・しかし我々が現場に到着したら殺し屋が倒れていました。命には別状なかったですが胸に切られた後がありました。」

遠藤麗菜「あれほどの大きな男を倒せる男がまさか我々月光以外にいるとはね・・・ん？」

遁馬「馬の名前」「ヒヒーン！」

三浦翔「第7班も無事に帰還しました！」

第7班の三浦翔は馬の上に乗って帰還した。

誠司「・・・他のメンバーはどうした？」

翔「はい！遁馬があまりに暴走して早く走るので馬車が途中で転落してしまい。途中でいなくなっていました。私は“動物の果実”モンスターフルーツの力でなんとか遁馬とともに帰還しました。」

誠司「・・・そもそもなんで今どき馬なんか？」

翔「すいません！私が車を使おうとすると遁馬嫉妬して襲い掛かつ

てくるんです！」

誠司「まあいい！会議を開くから皆、班員を集めて会議室へ集合！」

そのころとある喫茶店では

北沢風神「えっ！マジで乱丸入院したのかよ？」

南海光一「それはまずいな！早く見舞いに行かないと！じゃあなマスター！」

英樹「おう！また来るんだぞ！特上パフェと特上サイダーご馳走してやるからな！」

風神と光一は喫茶店を出て乱丸の病院へ向かう。

風神、光一もまた乱丸、利子、功太の幼馴染であり、風神、光一は別の高校に通っている。

英樹は乱丸、利子、功太、風神、光一の行きつけの喫茶店のマスターである。

利子「全く・・・ほっときやいいものを・・・」

功太「まあいいじゃねえか！これでこの店には3人しかいないんだ！」

英樹「ああそうだな！」

英樹は店の札をOpenからCloseに変える。

英樹「さあ！集会を開くぞ！内容は他でもない。突如発覚した乱丸の力についてだ！」

英樹が本棚をずらすと地下へ続く階段が現れる。

PANDORA 第2話 記憶をなくした少年（後書き）

利子、功太、英樹の正体とは？

PANDORA 第3話 怪力の桜（前書き）

冥王星とは何者？

英樹、利子、功太のつながりとは？

PANDORA 第3話 怪力の桜

とある暗いアジトにて・・・

エリー「サムは失敗したようですね。」

エリー・・・冥王星に雇われた女傭兵ブルート
スパイ

冥王星「いや！成功さ！何故なら乱丸が何色のオーラを扱えるのか・
・何のエレメントを秘めてるのかを知ることが出来たからな！さ
て、では次の任務だ！！神風隊の5番隊かみかぜたいを乱丸が入院した病院へ送
り込む。そこには私が殺したくて仕方なかった元総理が入院してる
から調度いい！派手に荒らしてもらおう。くくく・・・神風隊の5
番隊長のツチノコは“土の元素”グラウンエレメントの使い手！土の元素は5大元素
の中で1番攻撃の範囲が広く一点集中時の攻撃においては1番効果
が大きい！！さてさて乱丸は私らの組織に入れるかそれとも殺すか
？」

そのころ特殊部隊「月光」の会議では。

永沢誠司「あのサムという男。やはり我々が捜査している組織と絡
んでいた！」
ながさわせいじ

永沢誠司・・・月光の最高指揮官。

風間蓮「だが、例の組織には金で雇われていただけで詳しい情報は
持っていないかった。」
かざまれん

風間蓮・・・？月光 第5班 班長？乱丸の父親

松本裕「そうか・・・」
まつもとゆたか

松本裕・・・月光 第5班 班員。

浜田守「ところで第7班はいつになったら帰ってくる。」
はまだまもる

浜田守・・・月光 第5班 班員 司令塔リーダー。

三浦翔「もうそろそろ帰ってくる頃なんだが・・・」
みづう翔

三浦翔・・・月光 第7班 班長

遁馬「ヒヒーン！！」

遁馬^{とんま}・・・月光 第7班 馬？

遠藤麗菜「お前のせいだろ！？」

遠藤麗菜^{えんどうれいな}・・・月光 第5班 班員

そのころ馬車から転落した第7班の班員達は・・・

植田健「痛^{いた}えな！くそ遁馬の野郎！帰ったらただじゃ置かねえぞ！」

原田桜「本当に・・・」

植田健^{うえだけん}・・・月光 第7班 班員

原田桜^{はらだやくら}・・・月光 第7班 班員

原田の携帯「プルプル・・・」

原田「はい！！えっ！？」

そのころ入院してる風間乱丸、空は・・・

ナースA「きゃ〜！」

空「お姉さん！いいおっぱいしてますね！Eはあるんじゃないですか？」

空・・・記憶喪失の少年

空はナースの巨乳を揉んで楽しんでた！

乱丸「そうだ空！そうやって記憶を失う前の感覚を取り戻すんだ！」

空「乱丸君も誰かの揉みなよ！」

乱丸「じゃあ俺は貧乳っぱいこの人のを・・・あゝやっぱ貧乳に限るわ！C以上とか魅力感じねえ！」

空「えゝうそ？僕は断然巨乳派だよ！この人どう見てもA以下じゃん！おっぱいあるの？」

乱丸「いやA以下っていくつだよ！にしても流石に小さいな！まさかお前男じゃないよね？」

乱丸は顔を上げた瞬間凍りつく・・・

原田「久しぶりだね乱丸！」

空「もしかして知り合い？」

乱丸「まずいぞ！空！殺されるぞ！こいつは父ちゃんの所属する組織『月光』のメンバー『怪力の桜』だ！」

原田「本当にあんたは相変わらずだね！久しぶりに重いのくらいなさい！！」

乱丸「ぎゃー！！！！」

乱丸と空は桜の怪力で思いっきり殴られる。

月光の会議

誠司「ということで桜を病院に送ることにした。乱丸くんの警護もそうだが、元首相が入院中だ！万が一の時のためだ！」

蓮「桜か・・・乱丸の怪我が悪化してないといいが・・・」

そのころ、英樹のバーでは。

英樹「誰もいないな！」

久野英樹・・・？ルーツ ROOTSのリーダー？ツリー エレメント “木の元素”の使い手

利子「ええ！大丈夫よ！」

功太「おっ！メールだ！・・・はあ？」

タケル「お前ら遅いぞ！」

赤星功太・・・？ルーツ ROOTSのメンバー？ファイア エレメント “火の元素”の使い手

朝倉利子・・・？ルーツ ROOTSのメンバー？ウォーター エレメント “水の元素”の使い手

タケル・・・？ルーツ ROOTSのメンバー？ハッキング、情報処理

担当

英樹「それでは今回の話は他でもない乱丸を組織に入れる件についてだ！まさか“風の元素”ウィンド エレメント が使えたとはな！明後日退院だよな？す

ぐにでも引き入れるぞ！」

功太「その件なんだが・・・」

英樹「どうした？」

功太「乱丸の入院が1ヶ月に伸びたらしい。複雑骨折だそうだ。」

英樹、利子、タケル「いったい何があったー！？」

？「お取り込み中しません！」

英樹「おお！待ってたぞ！」

利子「だれ？このきれいな女の人？」

英樹「紹介しよう俺の大学時代の同級生でROOTSの新メンバー、

エリーだ！」

エリー「よろしく！」

PANDORA 第3話 怪力の桜（後書き）

エリーがROOTSにスパイとして潜入！？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6758y/>

PANDORA

2011年11月21日15時41分発行